

保存版 新型コロナウイルス感染症関連:各種お問い合わせ先

発熱などの症状がある場合、まずは「かかりつけ医」に電話でご相談ください。
医師の判断によりインフルエンザ等の感染症の検査を行い、必要に応じてPCR検査へと移行します。

●発熱が続いているなど体調が悪く、
かつ「かかりつけ医」がない方

世田谷区・発熱相談センター
03-5432-2910
(平日8:30~17:15)

●病状はないが不安に思う方

世田谷区・新型コロナウイルス相談窓口
03-5432-2111
(平日8:30~17:15)

●新型コロナウイルスに関する「暮らしの総合相談」

感染拡大に伴う生活上の不安や困りごとについて、どこに相談したらよいか分からない場合

玉川地域:03-3702-1134 砧地域:03-3482-1324
世田谷地域:03-5432-2818 烏山地域:03-3326-1207
北沢地域:03-5478-8038

●世田谷区:新型コロナウイルス感染症に関するまとめ

区内の最新感染動向や区の対策などの情報がまとまっています。
右記QRコードよりアクセスして下さい。



●高齢者安心コール

高齢者の日常生活上の困りごとに関する相談を受け付けています。相談内容に応じたボランティアの訪問援助や電話訪問による見守りサービスも行っています。

03-5432-1010
(24時間・365日)

●せたがやコール

世田谷区の手続きや施設案内などのお問い合わせにオペレーターがお答えします。お問い合わせ先が分からない場合もこちらまでご連絡下さい。

03-5432-3333
(8:00~21:00・年中無休)

連絡先 各種お問い合わせ、後援会へのご入会(無料)など、下記までご連絡下さい。

おぎのけんじ 後援会

TEL・FAX 03-6809-7120
〒158-0093 世田谷区上野毛 4-13-11 / メール: info@oginokenji.jp

ホームページはこちら www.oginokenji.jp

facebook・twitter・ブログも是非ご覧下さい。「おぎのけんじ」で検索をお願いします。



自民党

世田谷区議会議員

おぎのけんじ

区政レポート vol.11
令和3年 冬号

地域の声は、原動力。

プロフィール

- 世田谷区上野毛在住・44歳・2児の父 子育て・介護責任世代
- 早稲田大学法学部卒業後、(株)リクルート入社。以降IT系ベンチャー経営に従事
- 所属:上野毛町会、上野毛商和会、用賀商店街、玉川消防団、世田谷稲門会など
- 2019年4月の区議選にて2度目の当選(8,654票/3位)
- 趣味:サイクリング、ジャズ鑑賞、片付け指南
- 自民党世田谷区議団・副幹事長、自民党世田谷総支部・青年部長

CONTENTS

行政

PCR検査体制とワクチン接種について
新たな経済対策も始まります

2-3

議会

第4回定例会にて代表質問を行いました

4-5

地域

各地の安心・安全対策を行いました

6-7

暮らし

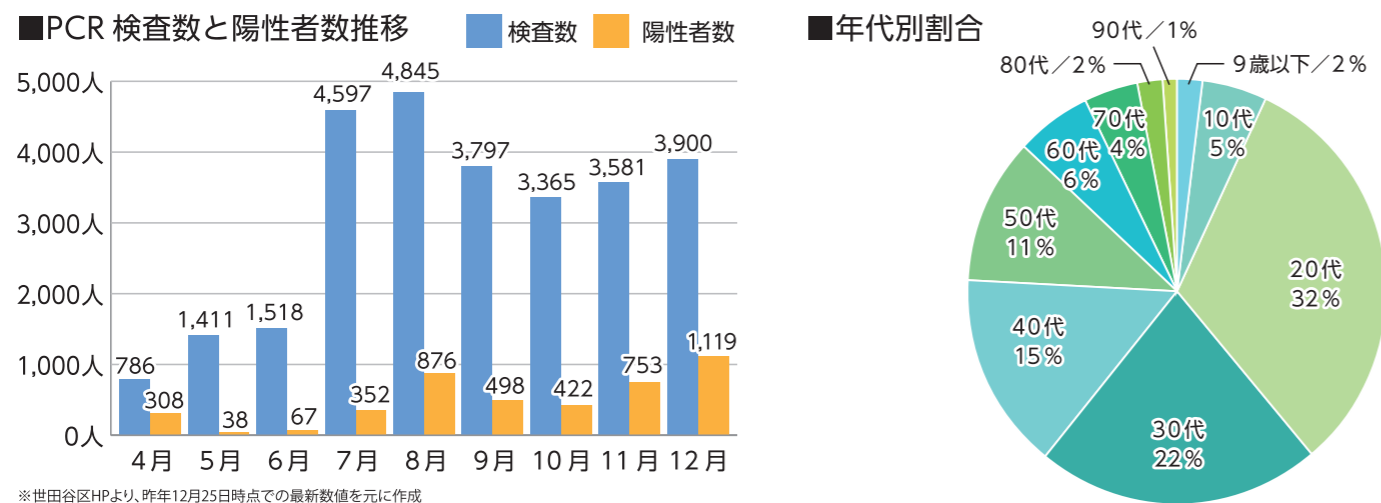
[保存版]新型コロナ関連お問い合わせ先

8

世田谷区政の「今」

区内感染者は依然増加傾向にあります

新型コロナウイルス感染症の第3波の真っ只中にありますが、区内における感染者数も増加傾向にあります。10人以上のクラスター（感染者の集団）も頻繁に発生しており、予断を許さない状況が続いています。



「いつでも誰でも何度でも」から現実的な検査体制へ

昨夏の第2波が到来した頃、世田谷区の保坂区長がメディアに出て「いつでも誰でも何度でも」PCR検査が受けられるようにする旨の発言をし、大きな反響を呼びました。しかし財政的な裏付けや検査体制の確保が現実的でないなど、議会からの厳しい指摘が相次ぎ、最終的には介護事業所等で働く方々（無症状）を対象とする形に落ち着きました。検査の詳細は以下の通りです。

対象施設	対象者	随時検査	定期検査
介護事業所・障害者施設	職員・入所者・施設利用者	感染者が発生した施設における濃厚接触者以外の方への検査（希望制）	2か月に1回実施（希望制）
一時保護所・児童養護施設			陽性者が発生した施設で実施（希望制）
保育園・幼稚園			対象外
小学校・中学校・新BOP	教員・職員		

上記対象者は約26,000人で、当初は1月末までに定期検査を終える予定でしたが、検査スピードが追いつかず3月末まで延長されました。10月からこれまで（昨年12/20時点）に上記検査によって確認された陽性者は54名ですが、**陽性者が出た施設でも、希望しなければ他の職員や利用者はPCR検査を受けないままであり、それではクラスター化防止につながらないと私は指摘しています。**今後の区の動きを注視していきます。

ワクチン接種体制の準備を急いでいます

新型コロナウイルスワクチンについては確保状況、配分時期等未だ不透明な点が多いものの、区では3月からの接種開始を想定し各種準備を進めています。一部のワクチンは有効期限が短く、効率よく接種できなければ廃棄につながる可能性も指摘されており、**特定の場所での集団接種が必要となります。そうした場所での感染対策にも十分配慮し進めなければなりません。**

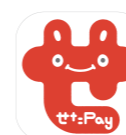


昨年12月末時点での概要は以下の通りです。

対象者 全区民（約920,000人）	費用 無料（区より接種券を送付）
接種回数 1人あたり2回 （接種間隔は3週間）	実施場所 区内医療機関（個別接種）及び 区内施設等（集団接種）
優先接種対象 医療従事者（約8,400人） ・ 高齢者（約185,000人） 基礎疾患のある者（約64,000人）	

新たな経済対策として「せたがやPay」が始まります

「せたがやPay」は世田谷区内のお店を応援するキャッシュレス決済です。お店にあるQRコードをスマホで読み取って決済する、いわば「PayPay」や「LINEペイ」の世田谷版です。スタートにあたり以下の取組みが実施されます。**今後、各個店毎のポイント還元や商店街イベントとの連動など様々な展開が可能となります。また今後の経済状況次第では再度のプレミアム電子商品券販売も検討するべきと区に要望しています。**



飲食店応援キャンペーン

加盟飲食店での支払いに「せたがやPay」を利用すると以下のポイントが還元されます。ポイントは飲食店だけでなく、加盟店全てで使えます。

●第1弾（2月20日～3月31日）：還元率**20%** ●第2弾（4月1日～5月31日）：還元率**10%**

プレミアム電子商品券としての販売

既に申込みが終わっていますが「せたがやPay」でプレミアム商品券をアプリで購入（チャージ）することで、購入額の30%分のプレミアムポイントが付与されます。

おぎのけんじ議会活動

第3回定例会

(9月15日～10月16日)

第3次補正予算案が可決され、区では初となる3人目の副区長が選任されました。会期中に開催された決算特別委員会にて、私は文教所管質疑と最後の補充質疑を担当し、行政を進めるべきICT化施策、来年度予算編成、災害対策などについて聞きました。

決算特別委員会・文教所管質疑



- 教員の資質・能力の向上策について
- 来年度からのICT教育の方向性について
- 教員と教育委員会のICTスキル向上について
- 図書館の未返却本への対応について

決算特別委員会・補充質疑



- 区の事業評価の甘さについて
- 来年度予算編成について
- 区におけるICT組織の強化について
- ICT担当副区長の可能性について
- 台風19号被害への国の対応状況について

世田谷区の補正予算について

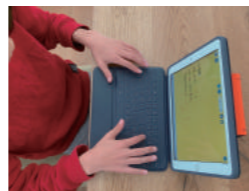
補正予算とは、年度当初に組まれた予算以外に急を要する事業を施行しなければならない場合に組まれます。世田谷区でも今年度は定例会ごとに補正予算案が提出・可決され、PCR検査体制の拡充、区立小中学校用タブレットの購入、プレミアム商品券の販売などが実施されています。

タブレット配って 終わりじゃダメ



おぎの 世田谷のオンライン学習環境整備は他の自治体に遅れを取っている。全国一斉休校期間中も、ほぼ家庭に丸投げの状態になってしまった。今年度中にタブレットが全区立小中学生に配布され、学校の通信環境も整う。来年度以降はICTを駆使し、一段階バージョンアップした学びを子供たちに提供することが期待される。何をどう進めていくつもりか。

教育長 子どもたちにとって、時には教えられたこと、書いてあることを鵜呑みにせず、批判的な視点で物事を評価する力も今後は必要になる。タブレット活用はその一助となるものであり、子どもたちの考えを広げ、深める教育を目指していく。



小6・中3から優先配布されているiPad

多摩川の水害対策は その後どうなっている？

おぎの 台風19号の最終検証報告に示されたシミュレーション結果を見ると、二子玉川の無堤防区間が解消されていた場合、等々力排水樋門が適時適切に閉められていた場合でも、相当の浸水被害が出てしまうことがよく分かる。結局は多摩川にどれだけ流し込めるかが鍵となるが、国による対策はどの程度進んでいるのか。

土木部長 国による「多摩川治水対策プロジェクト」において、世田谷周辺の水位を低下させる河道掘削を今後5年をかけて実施する予定である。世田谷部分は掘削対象から外れているが、国は必要に応じて対応するとし、二子玉川上流部における河床掘削は既に実施されている。



台風通過後の多摩川河川敷の様子

第4回定例会

(11月25日～12月4日)

会派の代表質問を担当しました。行政においてはコロナ対応はもちろん、来年度予算編成の真っ只中となります。コロナというピンチを変革のチャンスと捉えてほしいという思いを込め、幅広く質問・提案しました。

代表質問



- 区長・副区長・教育長のリーダーシップについて
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- せたがやPayを活用した経済対策について
- デジタル行政の強力な推進について
- 道路整備事業への区の姿勢について
- 不妊治療費助成について
- 「認知症とともに生きる希望条例」制定後の取り組みについて
- 農福連携事業について
- 災害対策について
- 総合支所長のあり方について

トップダウンで来年度予算編成を

おぎの 来年度は過去最大級の税収減が想定される。しかし来年度の歳入見込みに対し、各部からの予算要求額は大幅に超過している。区長からはこの状況を打破しようという姿勢が窺えない。持続可能な世田谷区政を実現するため、区長自身が、コロナ禍でも進めなければならない事業、落とさざるを得ない事業を決め、現場に対し強いメッセージを発信せよ。

区長 極めて困難な予算編成を乗り切るため、施策の優先順位付けと事業見直しの判断を進めていく。また区民生活や区内経済への影響を見極めた上で、事業の一時的な休止、公共施設やインフラの工事時期の調整、内部経費の一層の削減など、徹底した見直しを現場に指示していく。



本庁舎の改築には500億円の予算が



行政のデジタル化を急げ

おぎの 来年度にはDX関連の部署を立ち上げ、区のデジタル施策にかかる予算権限、庁内システムの設計・構築の権限を集中させるべきである。またデジタル化は全区民が恩恵に与れなければならない。区内28箇所のまちづくりセンターを地域におけるデジタルサポート拠点と位置付け、遠隔相談や各種オンライン申請に関するサポート相談などができるようにすべきである。

区長 今後、政策経営部を中心に組織強化を図り、外部の専門人材も活用しながらDXの推進に取り組む。具体的なプロジェクトチームを12月に立ち上げる。

地域行政部長 ご提案の内容をもとに、まちづくりセンターの窓口のあり方について検討を進め、身近な行政拠点におけるデジタル格差解消のための環境整備に取り組んでいく。

議会もコロナ対策しています



本会議は議場に残留議員、控室で視聴する議員とに分かれ密状態を回避。議場の壇上にはアクリル板を設置し飛沫を防いでいます。委員会も大会議室で十分な間隔を取り開催されています。

おぎのけんじ地域活動

地域の皆さんからのお声を元に

昨年は各地域におけるイベントが軒並み中止・延期となっていました。私自身も皆さんとお会いできる機会が減ってしまい大変残念です。地域に一日も早く笑顔と活気が戻ることを願いつつ、議員活動に励みます。以下は昨年、皆さんからのお声を元に対応をさせていただいた実績の一部です。地域の安心・安全を最優先にこれからも活動を続けてまいります。

※私の活動拠点地域が中心ですが、もちろんこの他の地域の案件も随時対応させていただいております。気軽にお声がけ下さい。



薄くなった停止線を塗り直し



地域の皆さんとゴミ拾い



交差点の角にポールを設置

before



after



お店から出る車の見通しを悪くしていた樹木を剪定



かねてより要望していた河川カメラと危険水位表示



ちょっとした段差でも高齢者の方には危険



1月から稼働開始の玉川総合支所、地下には最新の免震装置が(左下)玉川村・豊田村長の石碑も移設(右下)



大きなカーブの中央線を変更



消防団員としても活動中



ヒヤリハットの多い交差点にカーブミラーを設置



死亡事故現場への注意喚起を強化



台風19号で溢水した区間に大型土のう設置を要望



議会での要望により公園内での移動販売がスタート